

認定権者記載欄		

様式第5-(イ)-②

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-②)		窓口へ申請する日
藤井寺市長 殿		令和7年1月10日
申請者		個人：屋号、事業所在地 法人：登記上の住所地 or 事業実態のある事業所の所在地
住所		
氏名		
売上高の減少 or 販売数量の減少		
私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。		
(表)		
〇〇業(最も売上高等が大)	△△業	
※表には営んでいる事業のうち指定業種に属するもの(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。		
記		
1 事業開始年月日	平成30年10月10日	5%以上
2 売上高等		
$\frac{B-A}{B} \times 100$	指定業種の減少率 66.7%	5%以上
	全体の減少率 75.0%	
最近3か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合 50.0%		
A：申込時点における最近3か月間の売上高等(令和6年10月～令和6年12月)		
指定業種の売上高等 1,000,000円		
全体の売上高等 2,000,000円		
B：Aの期間に対応する前年の3か月間の売上高等(令和5年10月～令和5年12月)		
指定業種の売上高等 3,000,000円		
全体の売上高等 8,000,000円		
第 号		
令和 年 月 日		
申請のとおり、相違ないことを認定します。		
(注) 信用保証協会への申込期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで		
認定者 藤井寺市長 岡田一樹		

(注1) 本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、全体の売上高等に占める指定事業の売上高等の割合、指定業種及び申請者全体双方の売上高等の減少率が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 〇〇〇〇には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

個人：屋号
法人：会社名

申請者名：_____

(表1：事業が属する業種毎の最近1年間の売上高)

当社の指定業種は_____

業種 (※1)	最近1年間の売上高	構成比
〇〇業	10,000,000円	80%
△△業	5,000,000円	20%
	円	%
	円	%
企業全体の売上高	15,000,000円	100%

※1：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表2：最近3か月間における企業全体の売上高に占める指定業種の売上高の割合)

5%以上

企業全体の最近3か月間の売上高【a】	2,000,000円
指定業種の最近3か月間の売上高【b】	1,000,000円
【b】 / 【a】 × 100	50%

(表3：最近3か月の売上高)

指定業種の最近3か月の売上高【A】	1,000,000円
企業全体の最近3か月の売上高【A'】	2,000,000円

(表4：最近3か月の前年同期の売上高)

指定業種の最近3か月の前年同期の売上高【B】	3,000,000円
企業全体の最近3か月の前年同期の売上高【B'】	8,000,000円

(1) 最近3か月間の指定業種の売上高の減少率

$$\frac{【B】 3,000,000 \text{ 円} - 【A】 1,000,000 \text{ 円}}{【B】 3,000,000 \text{ 円}} \times 100 = 66.7\%$$

(2) 最近3か月間の企業全体の売上高の減少率

$$\frac{【B'】 8,000,000 \text{ 円} - 【A'】 2,000,000 \text{ 円}}{【B'】 8,000,000 \text{ 円}} \times 100 = 75.0\%$$

上記のとおり相違ありません。

申請者
住 所
名 称
氏 名
電話番号

* 申請書に誤りがある場合、連絡させていただくことがあります。